

1 3組 生活単元 単元名「3組博物館をひらこう」

2 令和4年7月14日(木) 2校時 3組教室

3 本時の学習(10/15)

4 本時で身に付けさせたい資質・能力と手立て

児童A: 上級生たちの簡単な手伝いや活動中の記録を教師と一緒にしようとする。

手立て: 前時に児童Aが撮影した写真を活動の最初に振り返りとして提示し、活動への意欲を高める。

児童B: 自分の好きなものを、材料や道具を使って表現できる。

手立て: 児童Bが今まで収集してきた画像や写真を印刷して用意し、具体物を使いながら表現できるようにする。

児童C: 前時に作った展示物を、材料や道具を使って飾り付けをすることができる。

手立て: 前時に作製したものと実際の博物館の展示物を比較し、本時の活動への意欲を高める。

5 展開

学習活動		時	ノート・ワークシート・ICT活用
1 前時の学習を振り返る。		10	・前時での活動を振り返るために、児童が撮影した活動の様子や作製した展示物の写真をモニターに映す。
2 本時のめあてを知り、学習の流れをつかむ。 〈めあて〉博物館のかざり方を考えよう！			・児童が落ち着いて学習に取り組めるように、ホワイトボードに学習の流れを掲示し、終了時間を時計型の教具で確認する。 ・各児童が自分の課題達成への意欲を高められるよう、ロイロノートで活動内容をイラストにしたテキストを、個別に配布する。
3 博物館の飾り方を考える。 T：本物の博物館はどんな飾り方をしているかな？ S：壁にたくさんはりつけてある。 S：ガラスのケースや台が置いてあるな。 T：何をつかったら、それが3組教室で作れるかな？ S：模造紙とか、テープ。 S：色紙や折り紙を使えば、本物みたいにきれいに飾れる。		30	・本時の活動に主体的に取り組めるように、実際の博物館の展示の様子をモニターで提示する。 ・個別の活動にすぐに取り掛かれるよう、使える材料や道具を話し合い、あらかじめ決めておく。 ・作製物の具体的なイメージがつかめるよう、展示物の見本をいくつか示す。
4 考えた展示物をつくる。 〈評価〉〈観察・タブレット・発言〉 児童A：教師と一緒に上級生たちの展示物の作製を手伝い、活動中の様子を写真で記録しようとしている。 児童B：教師と一緒に、自分の表現したいものを考え、材料を使いながら展示物を作製しようとしている。 児童C：前時に作製した展示物を、材料を使ってさらに飾り付けをしようとしている。			・振り返りや、次時の活動へつなげられるよう、タブレットを使って活動中の様子を写真や動画で記録するよう促す。 ・児童間の交流が活発になるよう、手が必要な様子の際には、他の児童に協力をするよう声掛けを行う。 ・課題解決の達成感と次時の活動への意欲を高めるために、活動中の写真を撮影し、肯定的な言葉がけを絶えず行っていく。
5 本時の振り返りを行う。 T：今日一番自分が頑張ったことに○をつけて提出しよう。		5	・自分の活動を振り返ることができるように、学習課題の取り組みについて自己評価するよう促す。 ・視覚的に活動の振り返りができるよう、イラストを選択するテキストを配布し、ロイロノートで提出させる。
既習事項	〈モニター〉 ・既習事項の提示 ↓ ・博物館の写真提示 ↓ ・作製したものの写真提示 ↓ ・振り返りの仕方の演示	〈板書〉 ○博物館の飾り方 ・本物が置いてある ・壁に貼り付けてある ・いろいろな色の台がある ・ガラスとかでカバーがしてある ○やりたい飾り方 ・紙に貼りつける ・色紙で台を飾る	〈ホワイトボード〉 〈め〉博物館のかざり方を考えよう！ きょう みんなですること ①かざり方をかんがえる ②かざるものをつくる ③作ったものをしょうかいする ④がんばったことをふりかえる
〈授業後にイメージする児童の姿〉 児童A：上級生の簡単な手伝いをすることができた。 児童B：写真を使って、自分の表したいものを形にすることができた。 児童C：前回作製した展示物を、材料を使って自分の考えたとおりに改良することができた。			
(支援員の役割) 上原支援員：児童Aの活動補助や支援。 齋藤支援員：主に児童Bへの活動補助。			